**たきざわ図形

中程度の精度で自動的に生成された説明**

**カーボンニュートラルチャレンジ**

**『』テキスト が含まれている画像

自動的に生成された説明共同利用申込書**

令和　　年　　月　　日

滝沢市長　武田　哲　様

下記の通り、たきざわカーボンニュートラルチャレンジに参加し、温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービス『Zeroboard』の共同利用を申し込みます。

**１　申請者**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）所在地 | 滝沢市 |
| （２）法人名称 |  |
| （３）代表者氏名 |  |
| （４）本市の事業所形態 | 事務所・店舗・工場・その他（　　　　　） |

**２　確認事項**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）滝沢市に法人市民税の申告を行っていますか？ | はい・いいえ |
| （２）滝沢市に『Zeroboard』のデータ提供に協力していただけますか？ | はい・いいえ |
| （３）『Zeroboard』に登録できる拠点数は、最大５か所ですが、よろしいですか？ | はい・いいえ |
| （４）『Zeroboard』を翌年度以降も継続利用したい場合、利用料が自己負担になりますが、よろしいですか？ | はい・いいえ |

**３　連絡先等**

|  |  |
| --- | --- |
| （１）担当部署名／担当者名 | ／ |
| （３）電話番号 |  |
| （４）e-mail |  |

**令和７年度たきざわカーボンニュートラルチャレンジ実施要領**

**１　目的**

市が、利用しているCO2をはじめとした温室効果ガス排出量の算定・可視化を行うクラウドサービス『Zeroboard』（以下「ゼロボード」という。）について、滝沢市内の法人と共同利用することで、地球温暖化対策としてカーボンニュートラルに取り組む市内法人を支援することとし、別紙チラシのとおり、『たきざわカーボンニュートラルチャレンジ』として実施する。

**２　共同利用の対象となる滝沢市内の法人**

　ゼロボードの共同利用を行う滝沢市内の法人は、滝沢市内に事務所や店舗、工場等があり、本市に法人市民税を納付している法人（以下「市内法人」という。）とする。

**３　共同利用までの流れ**

（１）市は、広報やホームページにおいて、市内法人に対するゼロボードの共同利用について周知を行い、また、必要に応じて、説明会を開催するなどして、ゼロボードの利用を希望する市内法人の申し込みを受け付ける。

（２）共同利用を行う法人の決定は、先着順に決定するものとし、受付開始後、予算の範囲内で受け付けるものとする。

（３）今年度中に発生するゼロボードの利用料は、市が全額を負担し、法人に負担は求めないものとする。

（４）市は、市内法人分のゼロボードの利用申し込みを行い、取得したアカウントを市内法人に割り当てることで、市内法人分のアカウントを確保する。

（５）市内法人は、翌年度以降もゼロボードの利用を希望する場合は、その利用料の全額を負担するものとする。

**４　申請書の受付方法**

　原則として、**メールでのみ受付します。**

　メール件名を「たきざわカーボンニュートラルチャレンジ申請」とし、下記アドレスに、本申請書を送信してください。

送信先アドレス　kankyou@city.takizawa.iwate.jp

**５　お問い合わせ・申請書送信先**

　滝沢市　市民環境部　環境課

電話０１９－６５６－６５１０（環境課直通）